

令和7年度 第4回長門市公共交通協議会議事録要旨

■日 時:令和8年2月25日(水)10:00~11:00

■場 所:長門市役所本庁 4階「会議室1・2」、Web

■出席者:24名(欠席2名)別紙のとおり

■次 第:

1 会長あいさつ

2 議事

(1)令和7年度長門市公共交通協議会事業計画の進捗状況について

(2)令和8年度デマンド交通運行計画について

(3)令和8年度地域公共交通確保維持事業

「長門市地域内フィーダー系統確保維持計画」の一部変更について

(4)その他

・美祢線沿線地域公共協議会での検討事項について

・JR美祢線代行バス板持駅停留所の変更について

・新山口直行便停留所の追加について

■内 容

(1)令和7年度長門市公共交通協議会事業計画の進捗状況について

事務局から、資料2について説明を行った。

※質疑等については以下のとおり

【榑原アドバイザー】

質問が2点ございます。

1点目はAIデマンドにつきまして、市として周知にご努力いただいていると思いますが、今後を見据えた際に、例えば利用率が何割以上になってほしいといった目安や、どの程度の利用があればアプリによる予約システムを継続できるとお考えか、お伺いできればと思います。

2点目はライドシェアにつきまして、非常に興味深く、重要な取組であると考えております。11月から12月までの1か月間実施された中で、事業者主体(料飲組合)として、今後も「継続できる」「継続した方がよい」とお考えなのか、あるいは実施してみたものの負担感が大きいといったお考えなのかについて、もし把握されている範囲で結構ですので教えていただければと思います。

【事務局】

まず1点目、AIデマンドの利用率について「具体的に何%程度を目安としているか」とのご質問であったかと存じますが、担当課として、現時点では「何%以上」といった具体的

な基準値を整理できていないのが正直なところでございます。

ただし、先ほど担当からご説明いたしましたとおり、対象者や高齢者層への周知、予約方法の見直し等を進めていくことに加え、今後スマートフォンに慣れた世代が増えていくことも見込まれますので、利用者数は今後増えていくのではないかと考えております。そうした状況に対応できるよう、引き続き制度面・運用面の見直し等に取り組んでまいりたいと考えております。

続いて 2 点目、ライドシェアについてでございます。こちら先ほど担当からご説明したとおりでございますが、担当課としての検証の受け止めとしては、「利用者は一定程度いらっしまった」というのが率直な認識でございます。

一方で、今回の取組は国の制度(補助金)を活用して実施した面もございますので、運営の持続可能性という観点では課題もあると認識しております。料飲組合へ聞き取りを行ったところ、運行体制の維持(人員、運転手、車両等)の準備が大変であったということ、また料金を 1 人 800 円として実施しているため、今後、仮に本格実施となった場合には当該金額での運営は難しい可能性があることなど、料金面・体制面の両面で検証が必要であると考えております。

今後につきましては、関係団体に加え、交通事業者の皆様も含めて、引き続き検討を進めてまいりたいと考えております。

【榑原アドバイザー】

アプリの件につきましては了解いたしました。基本的にはアプリ利用者は今後増えていくのではないかと考えておりますが、電話の方が早いと言われてしまうと、なかなかアプリの利用を促すことも難しいのではないかと感じましたので、お伺いした次第でございます。

また、ライドシェアにつきましては、やはり人員の確保が課題になるだろうと受け止めております。いずれも人に余裕がある状況ではないと思われますので、特に人の確保が難しいのではないかと感じております。

一方で、夜間の移動に関する課題は各所で耳にしておりますので、どのような形であれば持続可能となるのか、引き続き検討が必要だと思っております。長門市が今回先行して取り組まれておりますので、今後、知見を積み重ねていただければと思っております。

【大谷会長】

ありがとうございます。夜間の交通につきましては、料飲組合からのご意見に加え、医療機関からもご要望をいただいているところでございます。今後も引き続き、関係者の皆様と協議をさせていただきながら、検討を進めてまいりたいと考えております。

(2)令和8年度デマンド交通運行計画について《承認》

事務局から、資料3、4について説明を行った。

※質疑なし

(3)令和 8 年度地域公共交通確保維持事業

「長門市地域内フィーダー系統確保維持計画」の一部変更について《承認》

※質疑なし

(4)その他

①美祢線沿線地域公共協議会での検討事項について

事務局、参考資料 1 について説明を行った。

※質疑等については以下のとおり

【伊藤委員】

費用対効果の観点から比較検討案をお示しいただいていることを拝見いたしました。そこで確認が 2 点ございます。

1 点目として、仮に現道を活用して BRT を運行する場合、道路本体は既存のものを活用できるとしても、乗降場所の整備が必要になると考えております。例えば板持駅につきましては、新たにバス停を整備する必要が生じる可能性があると思われますし、長門湯本駅につきましても、現道を通る場合は迂回して U ターンするような運行形態が想定され、そのための対応が必要になるのではないかと考えております。こうした乗降施設等の整備費用については、費用対効果の検討材料に含まれているのかをお伺いしたいと思います。

2 点目として、現道側で整備を行う場合に、誰が整備を行い、どのような形態で整備し、また整備後はどのように管理していくのかといった点について、検討に含まれているのかを確認させていただきたいと思います。

【事務局】

まず 1 点目の停車場所につきましてでございます。委員からご説明いただきましたとおり、現行、板持駅では歩道沿いに停車して乗降している状況がございます。安全性の観点からは見直しが必要であると考えており、本市としても、また代行バスを運行している JR も、課題として認識しているところでございます。

この点につきましては、今後、特に利用者の皆様および地元自治会の皆様と、乗降場所の在り方について調整を進めてまいりたいと考えております。

また、湯本地区につきましても同様でございます。現行では、長門湯本駅と湯本の駐車場付近の 2 か所に停車している状況でございますが、速達性の観点からは、どちらか 1 か所に集約した方がよいのではないかといた案もございます。この点につきましても、利用者の皆様および地元自治会の皆様と、今後しっかりご相談・協議してまいりたいと考えております。

②JR美祢線代行バス板持駅停留所の変更について

JR 飯島課長代理より、参考資料 2 について説明を行った。

※質疑等なし

③新山口駅直行便停留所の追加について

事務局及び運行事業者(富士第一交通)より、参考資料 3 について説明を行った。

※質疑等なし

【大谷会長】

「新山口駅直行便停留所追加」につきましては、運行事業者において調整を進めていただき、協議会での承認が必要となる事項が生じた場合には、改めて本協議会にお諮りしたいと存じます。いただきながら、検討を進めてまいりたいと考えております。

④その他(意見)

【委員】

先ほど事務局からご説明がございましたが、前回の協議会において、デマンド交通の増便について要望を申し上げておりましたところ、対応していただきました。

意見というよりは御礼になりますが、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、高齢者の方々からは、今後もさまざまなご意見・ご要望が出てくる可能性がございますが、私自身も状況をよく伺いながら、できるだけ利用しやすいデマンド交通となるよう努めてまいりたいと考えております。今後も要望を申し上げることがあるかもしれませんが、引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

⑤今後について

【会長】

本日ご承認をいただいた「長門市地域内フィーダー系統確保維持計画」の変更計画について、早速、国土交通省に提出したい。提出後、国における決定に際し、軽微な修正事項等が発生した場合は、会長並びに事務局に一任いただきたい。

また、本協議会委員の任期は 3 月 31 日まででございます。委員の皆様におかれましては、任期期間中、会議にご参加いただき、種々ご議論を賜りましたこと、誠にありがとうございました。

最後に、本市の組織体制の改編につきましてご報告申し上げます。

市の組織改編につきましては、12 月定例議会でご承認をいただいたところでございますが、令和 8 年度から、新たに「地域未来創造課」を設置いたします。あわせて「総合政

策部」を新設し、地域未来創造課は同部内に配置する予定としております。地域未来創造課には「総合交通対策班(仮称)」を設置する予定であり、これに伴い、本協議会の事務局も新たな課および班へ移管することとなります。

背景といたしましては、例えば美祢線 BRT の検討において、長門市駅が始発・終着となることも想定され、駅を中心としたまちづくりの検討が必要になること、またデマンド交通を市内全域に展開している中で、各地域のまちづくりと交通体系がより密接に関わる状況になってきていることが挙げられます。こうした観点から、これまで経済産業部で運営してきた本協議会につきましては、今後、地域の将来像を見据えた交通体系の再構築を進めるため、新設する地域未来創造課へ所管を移したいと考えております。何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、これまで皆様にご議論いただきました内容につきましては、新年度の委員の皆様へ引き継ぐとともに、地域未来創造課へも確実に引き継ぎを行い、将来にわたり持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでまいりたいと考えております。